

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

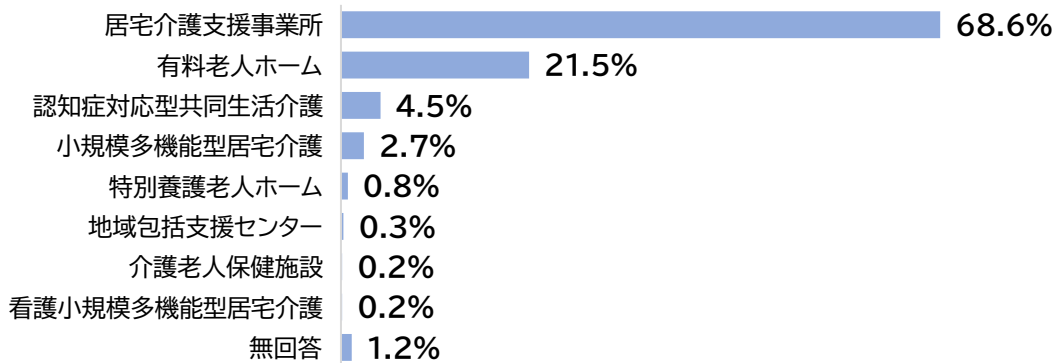
「ケアマネジャー限定 実態調査アンケート」集計結果

【実施期間】2024年4月26日～5月6日(11日間)

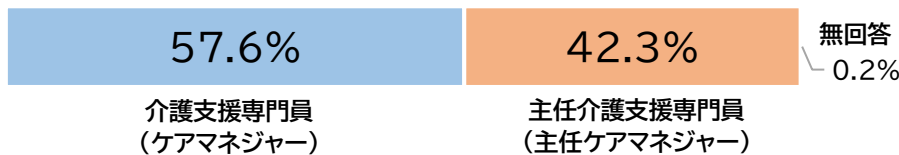
【調査方法】組合員が働く事業所にアンケート実施を FAX で告知。Google フォームにて回答。

【回答数】641名(ケアマネジャー、主任ケアマネジャー)

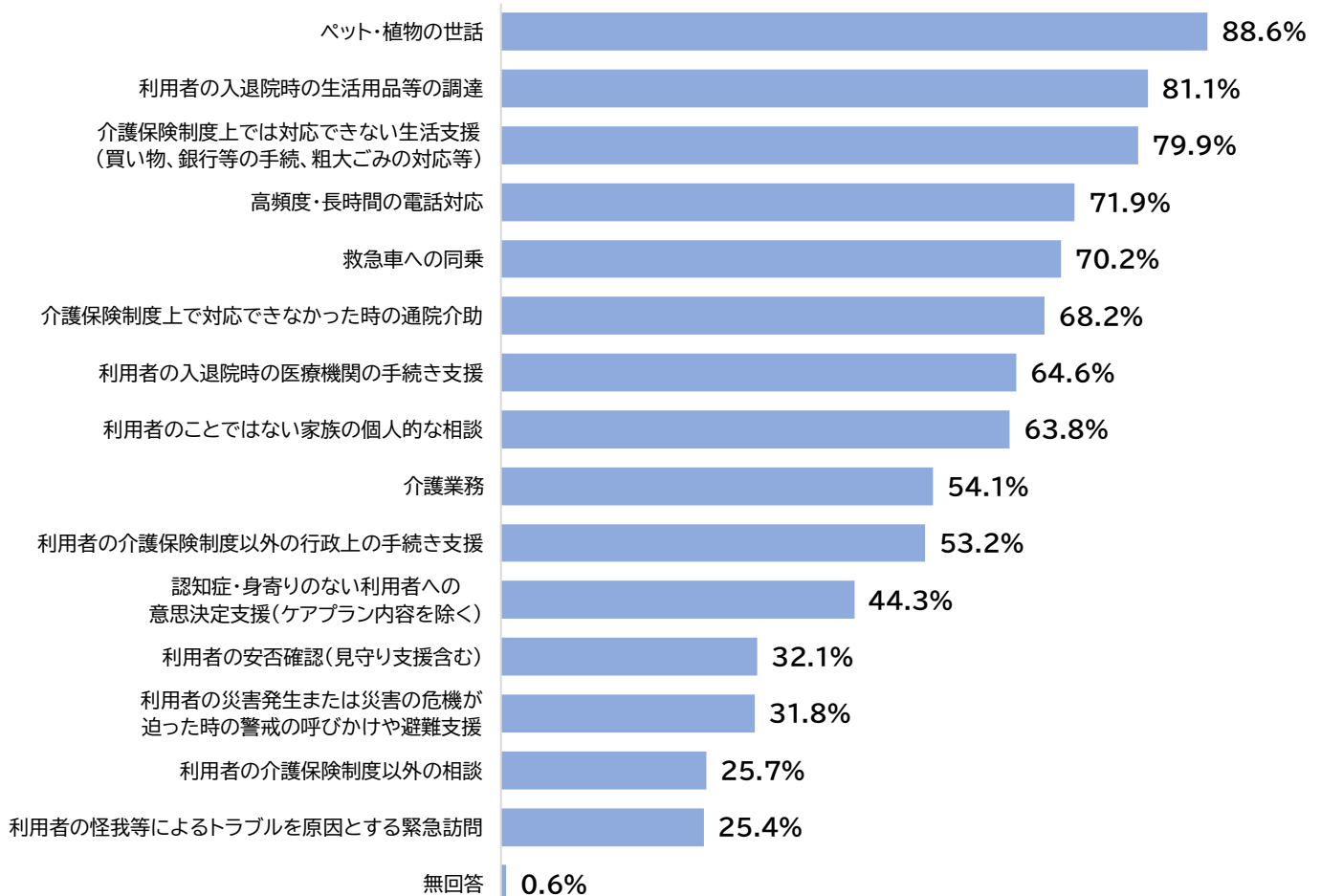
Q1.あなたがケアマネジャー(主任ケアマネ含む)として従事している場所はどこですか。 n=641



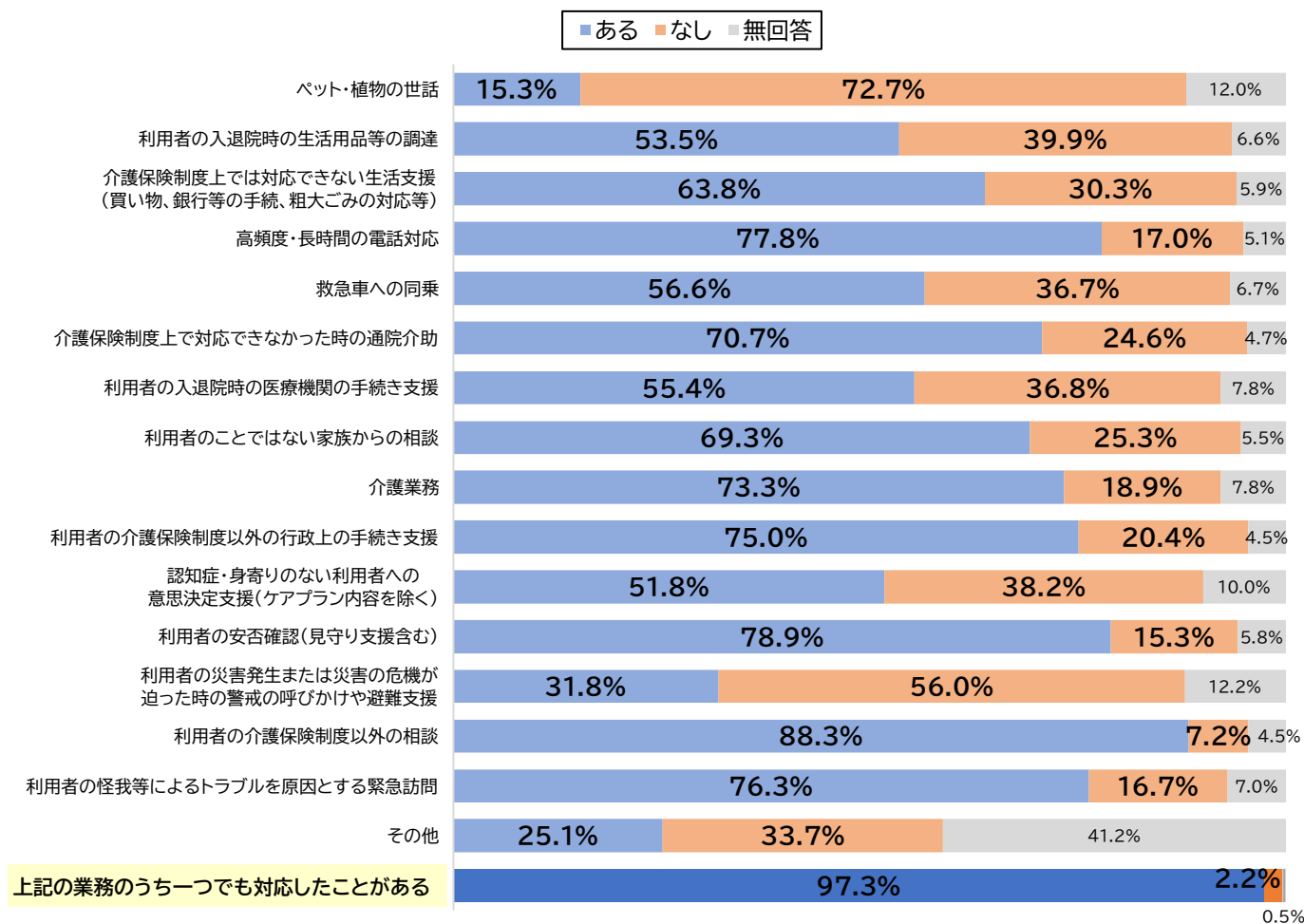
Q2.あなたが従事している職種はどちらですか。 n=641



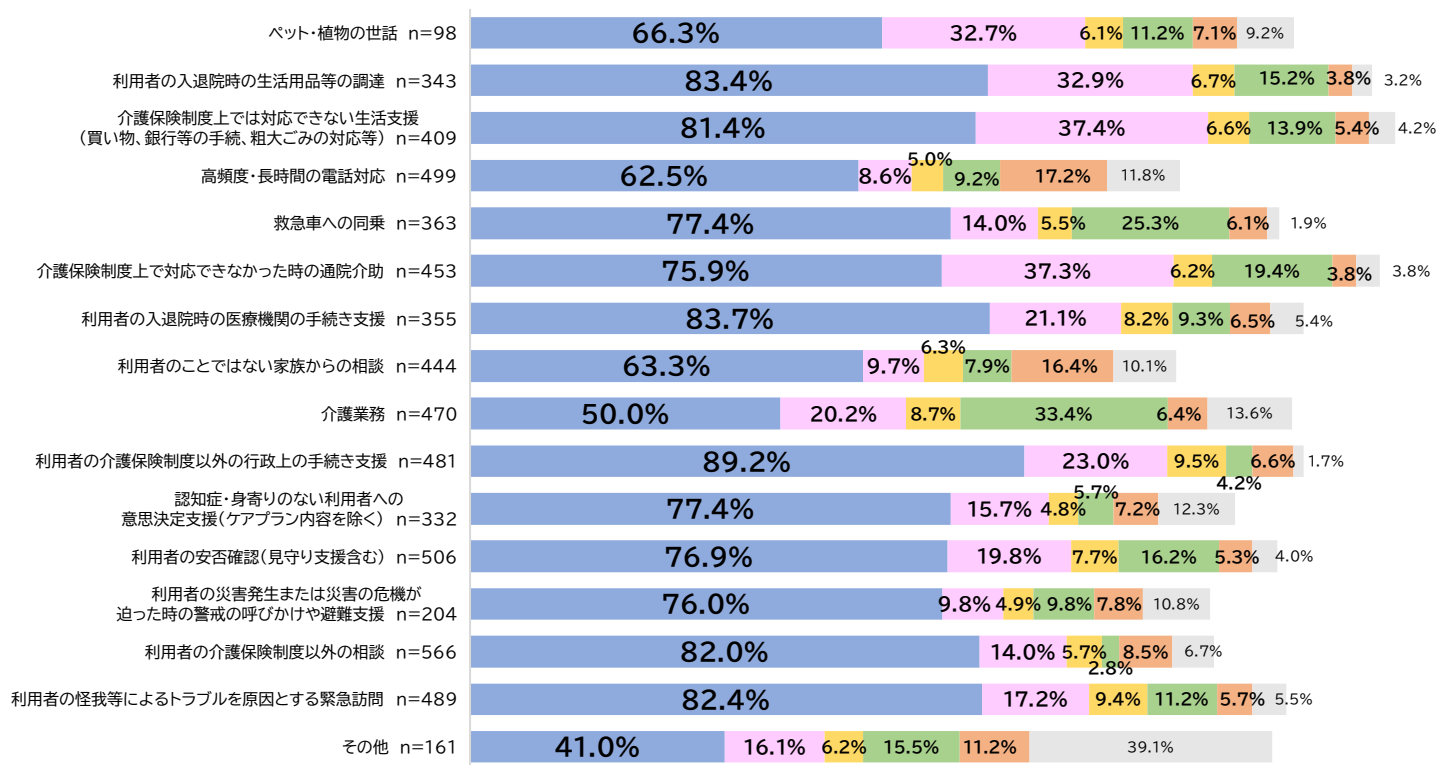
Q3.あなたが本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものはどれですか。(複数回答可) n=641



Q4.あなたは本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものの対応をしたことがありますか。 n = 641

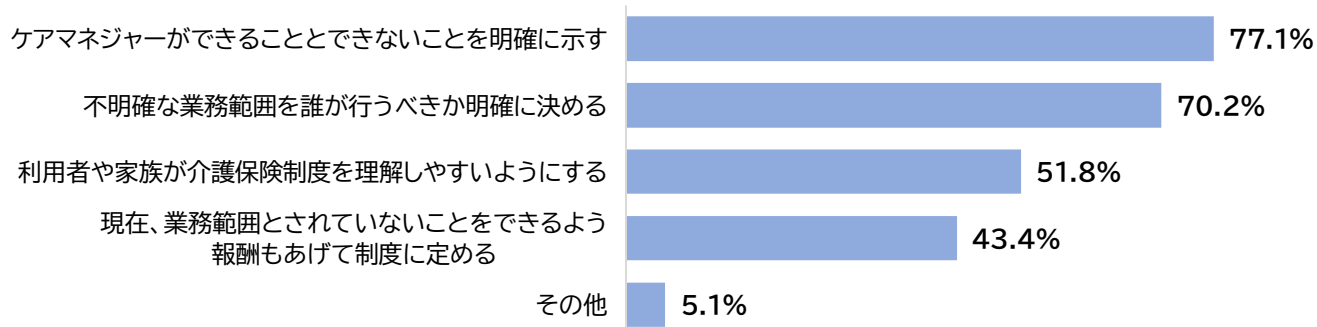


Q5.あなたは本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものの対応をなぜしましたか。
Q4 で選択した項目についてそれぞれお答えください。(複数回答可)

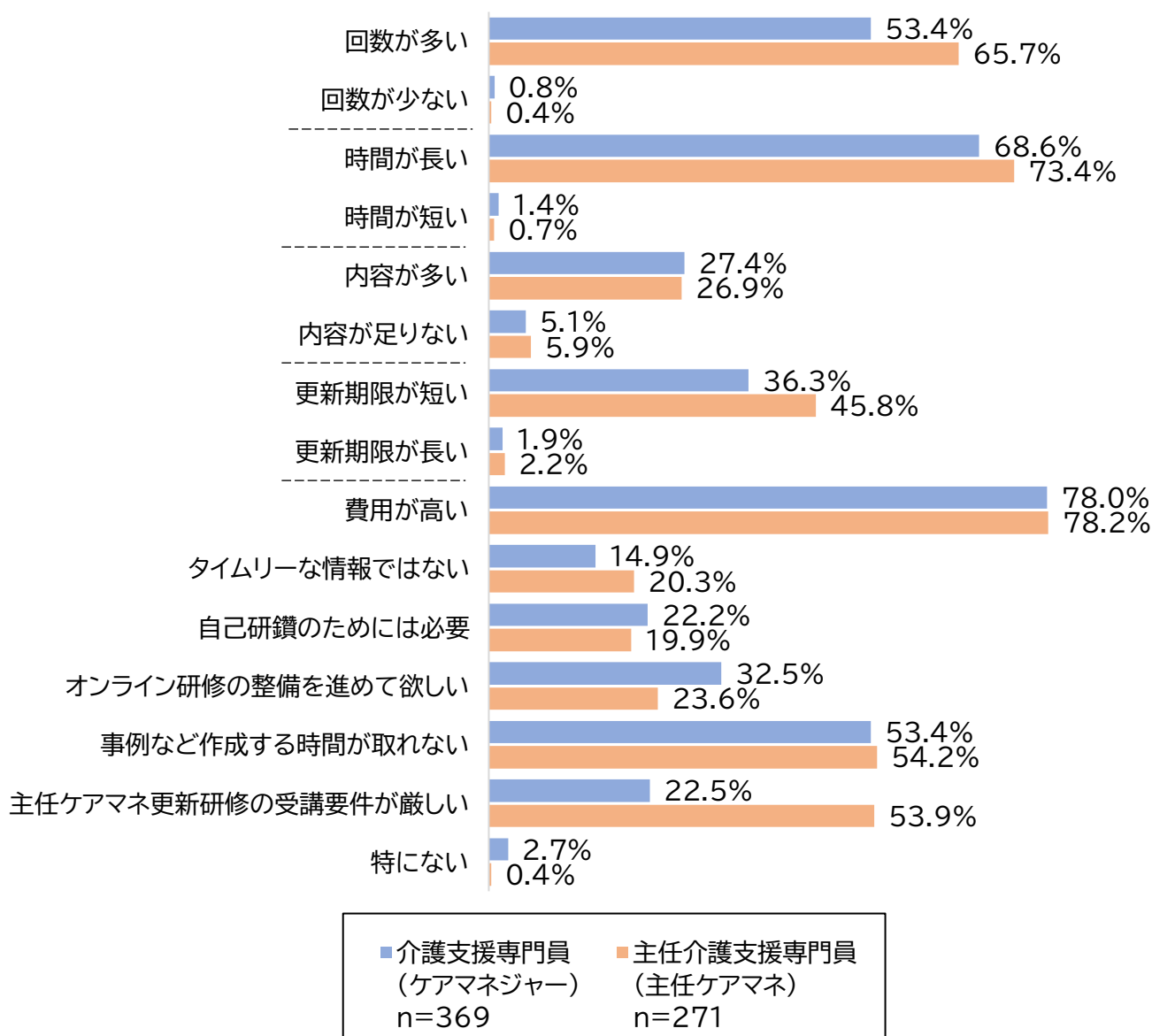


- 支援できる家族や友人知人がいなかったため
- 連絡などの手続きの手間を省くため
- その他
- 自費サービスを利用する金銭的な余裕がないため
- 人手不足のため
- 無回答

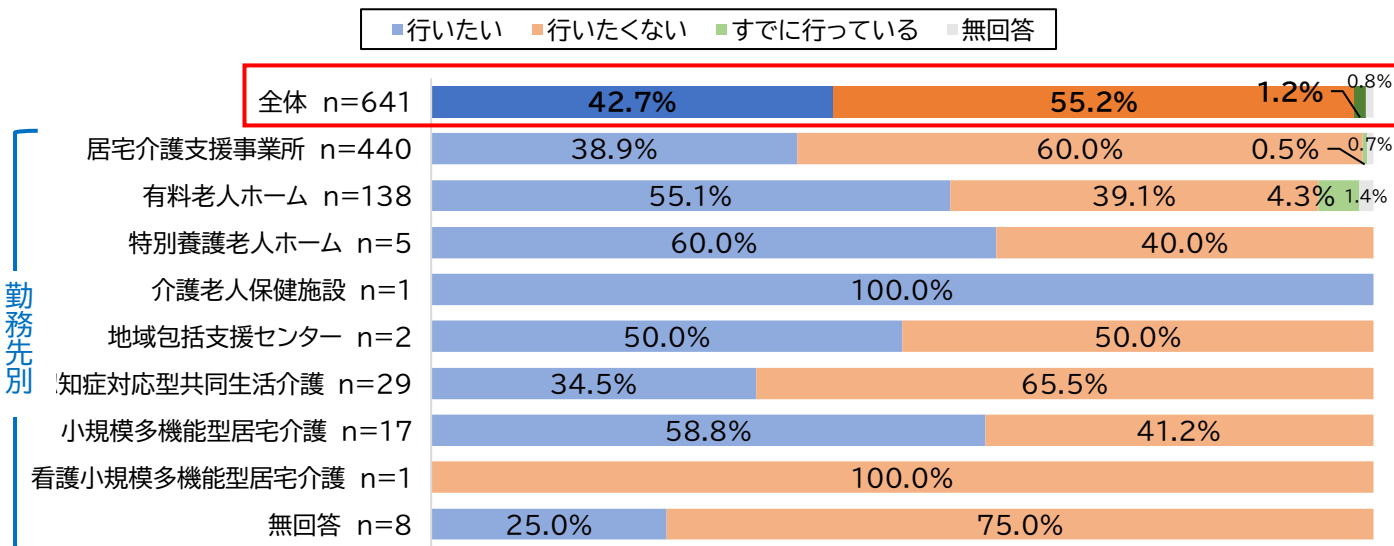
Q6.どうしたら業務範囲ではないことを対応しなくてもよくなると思いますか。(複数回答可) n=641



Q7.更新研修について思うことはありますか。(複数回答可)

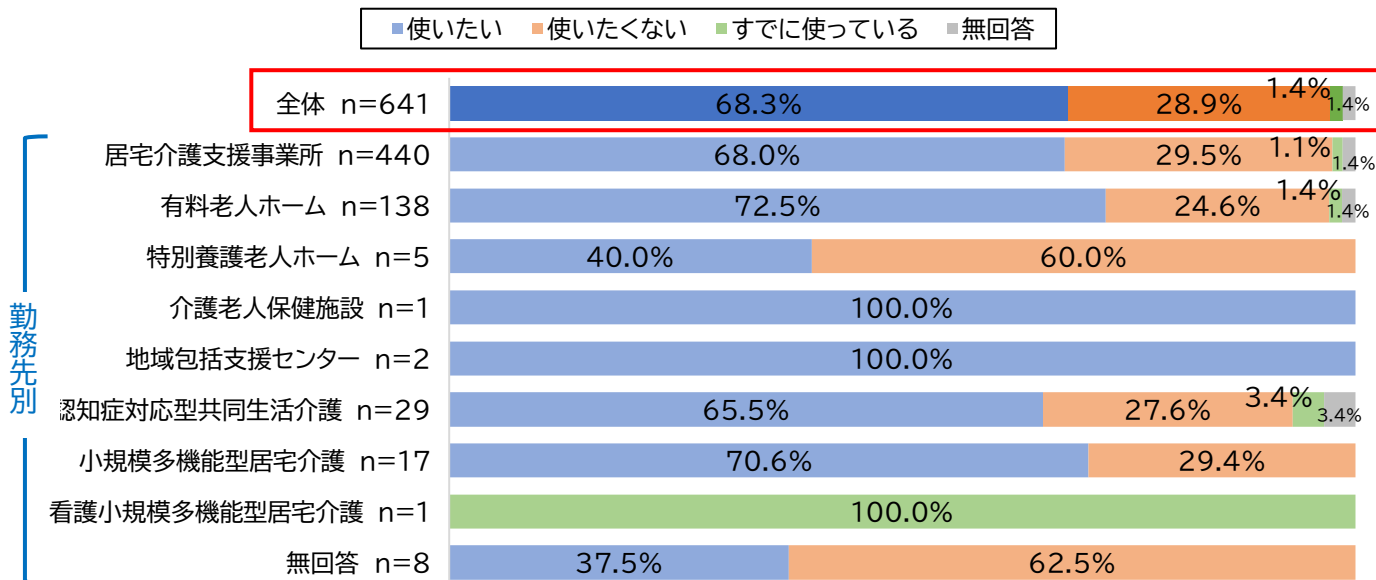


Q8.オンラインモニタリングについて



「行いたい」主な理由 (Q8.記述抜粋)	「行いたくない」主な理由 (Q8.記述抜粋)
移動時間が短縮できる・ガソリン代節約できる	直接会わなければわからないことが多い
リモート勤務が可能になる	2ヶ月に1回行かないといけないなら負担は変わらない
担当件数が増えていくと思うため	利用者が本音を話せなくなる
望む家族や利用者がいて条件が揃えばよい	パソコンが一人一人に貸与されていないのでできない
生産性向上	利用者にオンラインを行う環境が整っていない

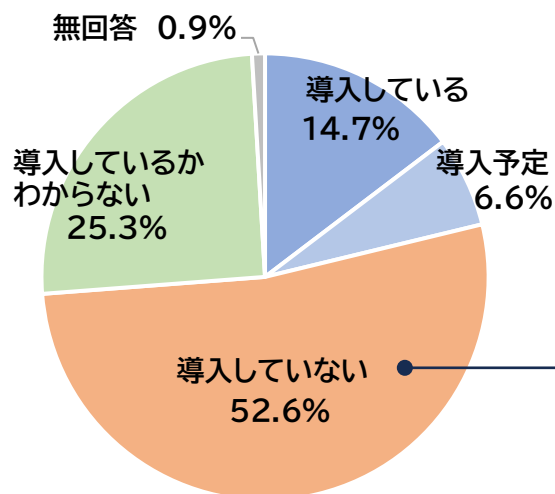
Q9.ケアプラン AI 作成について



「使いたい」理由 (Q9.記述抜粋)	「使いたくない」理由 (Q9.記述抜粋)
考える時間が短くなり短縮につながる	個別性がなくなる
自分では思いつかないプランができるかもしれない	ケアマネの経験が必要なくなる
文章を作るのが苦手なので…	AIが信じられない
件数が増えると思うので効率化が図れる	使用するまでに手間がかかる
単に AI に興味がある	システムが整っていない

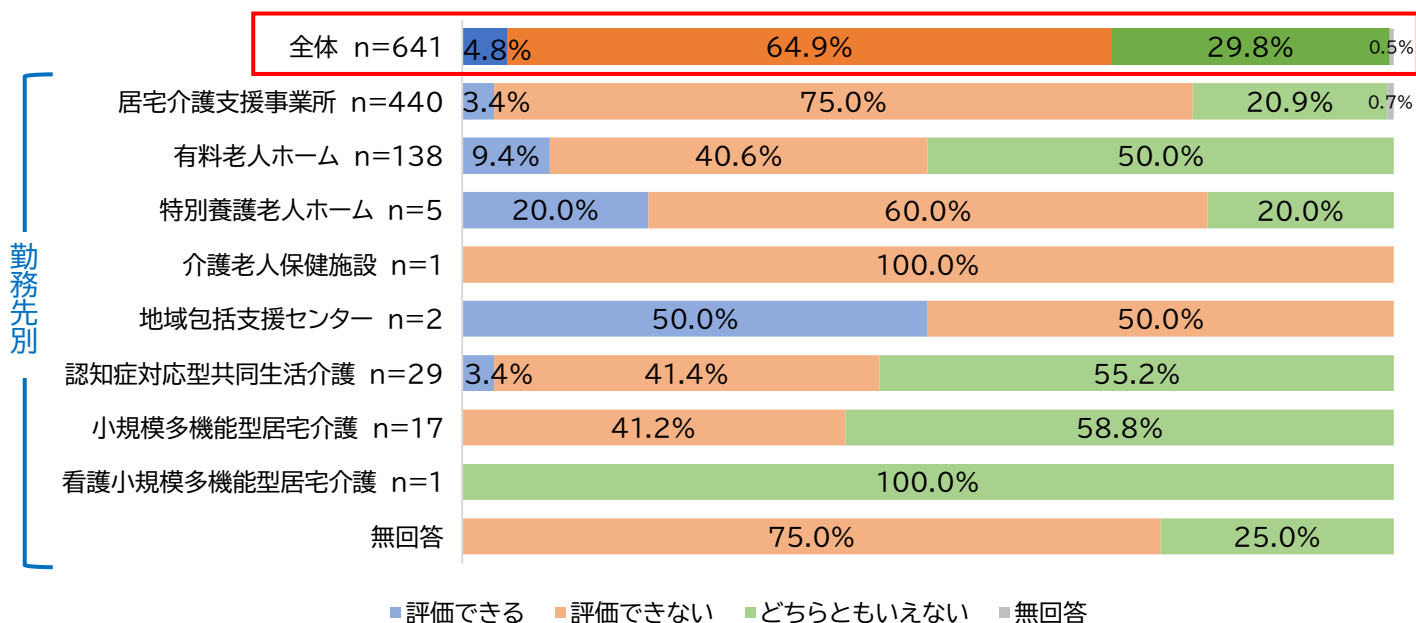
Q10.ケアプランデータ連携システムについて n=641

Q10-2.「導入していない」理由 n=337



理由	割合
連携先事業所が連携可能なシステムを導入していないため	8.3%
導入コストが高いため	4.4%
理由はわからない	38.7%
無回答	1.2%

Q11. 通減制の緩和(ケアマネ1人当たりの取扱い件数の増加)についてどう思いますか。



「評価できる」理由 (Q11.記述抜粋)	「評価できない」理由 (Q11.記述抜粋)
利用者の増加を考えると一人当たりの件数を増やすしかない	質の向上のために35件未満にしたのではなかったのか?
妥当な人数と考えるため	利用者としてしっかり向き合うことができなくなる
仕方がない	サービス残業が増える
ICT等の活用が増えても業務負担は変わらないから	賃金は上がらないのに業務量が増えるばかり
ケアマネ業務を明確化しないと件数を増やすのは難しい	今でも大変なのにできると思えない
件数増えた分収入が増えるから	困難事例の利用者が増えているので件数を増やせない
メリットデメリットがあると思う	会社から件数を増やせと強要される
無理なくできるならいいと思う	事務作業が減っても相談内容は少なくなるらない